



A Place for Youth

vol.01

ユースサポート・ユースワークふじさわ
活動報告2023



ごあいさつ

ユースサポート・ユースワークふじさわは、2013年4月の開所以来、10年間にわたり藤沢市の若者支援に尽力してまいりました。そして、2023年4月、新たに認定NPO法人ユースポート横濱が事業者として選定され、新体制での支援活動を開始しました。ユースポート横濱は2006年から横浜市を拠点に若者支援・就労支援を行ってきた実績を持ち、その豊富な経験を藤沢市に活かしてまいります。

新体制初年度を記念し、この活動報告には「A Place for Youth vol.01」というタイトルを付けました。2023年4月から2024年3月までの一年間におけるユースサポート・ユースワークふじさわの支援内容や若者の状況をご紹介します。

ユースサポート・ユースワークふじさわは、行政や民間のさまざまな関係機関と緊密に連携し、若者の自立支援を推進してまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ユースサポート・ユースワークふじさわ 施設長
(認定NPO法人ユースポート横濱 理事長)
熊部良子

ユースサポート・ユースワークふじさわとは

ユースサポート・ユースワークふじさわは、藤沢市の子ども共育計画に基づき、「困難を抱える若者の自立支援」を目的として設置されています。当所では、仕事や学校の問題、ひきこもりなど社会生活に関する悩みを抱える若者たちの自立と就労を支援しています。私たちの支援は、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかなアプローチが特徴で、その柱は以下の三つです。

①個別支援（相談）

初回相談・登録後に、担当の相談員が付き、若者の自立や就労に向けた困りごとや不安をじっくりと伺います。それぞれの状況に合わせたサポートを提供し、仕事や学校、生活に関するニーズに応じた支援を行います。また、必要に応じてご家族との面談や関係機関への同行支援も実施します。さらに、市民センターなどでの出張相談も行っています。

②プログラム

若者が自己理解を深め、自立への一歩を踏み出せるよう、多彩なプログラムを提供しています。外出の機会を作る、生活リズムを整える、人との関わりを増やす、新しいことに挑戦するなど、バリエーション豊富な活動を展開しています。また、所内だけでなく、地域での社会体験（ボランティア）や就労体験プログラムも行っています。

③家族支援

現代の就職事情を理解し、子どもとの関わり方を学ぶための家族向けセミナーを開催しています。また、未就労や不安定就労の子どもを持つ親同士が安心して話せる場として、家族交流会も企画しています。



個別支援（相談）

2023年度は個別相談を述べ1183件、関係機関への同行支援・ケースカンファなどを27件行いました。また、12か所の市民センター・公民館にて計19件の出張相談を行いました。

個別相談	同行支援 ケースカンファ	出張相談	合計
1183件	27件	19件	1229件



プログラム

2023年度は、所内プログラム755人、就労体験25人、社会体験（ボランティア）43人、居場所利用138人の利用がありました。

所内プログラム	就労体験	社会体験 (ボランティア)	居場所	合計
755人	25人	43人	138人	961人



所内プログラム

様々なバリエーションのプログラムを行いました。若者一人ひとりが自分の目的や興味に合わせて参加しています。

カテゴリ	実施したプログラム
ものづくり	ペーパークラフト、ヒンメリ、とびだすカード、指編み、粘土、塗り絵、羊毛フェルト、寄せ植え、ハイドロカルチャー、プラントハンガー、アロマテラピー、コラージュ、立体絵画、ちぎり絵、ビーズアクセサリー、スクラッチアート、ブロック工作、お絵描き、クッキング（たらこパスタ、豪華ラーメン、やきそば、チーズタッカルビ、クリスマスケーキ）、松ぼっくりのツリー、インクアート、レジンアクセサリー
スポーツ／ゲーム	卓球、バドミントン、お散歩、筋トレ・ストレッチ ジェンガ、オセロ、UNO、トランプ、パズル、謎解き
コミュニケーション練習	トーキングゲーム、SST（ソーシャルスキルズトレーニング）、CBT（認知行動療法）
就労にむけて （「はたらく」シリーズ）	様々な働き方、仕事のルールとマナー、会社の仕組み、働く理由、長所と短所、自分の職業興味、いろいろな職種、求人票の見方、履歴書の基本、面接の練習、ハロワーク見学ツアーなど全23種

就労体験プログラム

地域の企業様や事業所様にご協力いただき、下記の就労体験を実施しました。

就労体験受け入れ先	体験内容
藤沢世話焼きワーカーズコレクティブはまゆう	宅配事業所にて、宅配トラックの片づけ補助、チラシ折りなど
労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブ デポットらいふたうんランチ	スーパーにて 野菜の仕分け、袋詰め、品出し、清掃など
認定NPO法人 WE21ジャパン藤沢 WEショップ藤沢	リサイクルショップにて 検品、食器洗浄、アイロンかけ、レジ、閉店作業など
有限会社工匠	公共施設にて、清掃
株式会社開明製作所	製造現場にて、金属製品の簡易検査 (測定器具を使用・目視による傷などの検査)

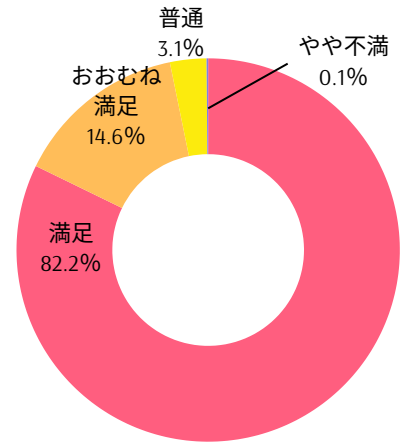
社会体験（ボランティア）プログラム

地域の企業様や事業所様にご協力いただき、下記の社会体験を実施しました。

社会体験受け入れ先	体験内容
公益社団法人藤沢市みらい創造財団 青少年事業部 スポーツ・芸術文化事業部	青少年会館での児童の見守り、 湘南台文化センター市民シアターでのイベントスタッフ、 秋葉台プール元気祭りのスタッフ、 秩父宮記念館体育館スポーツチャレンジフェスティバルのスタッフ
藤沢市産業労働課	湘南合同就職説明会のスタッフ
そのほか	Fプレイスフェスタ・藤沢公民館まつり出店のスタッフ、 保護犬・保護猫のお世話、地域清掃

所内プログラム アンケート結果

所内プログラムでは毎回、終了後にアンケートの記入していただいています。「プログラムの内容について、満足度はいかがでしたか？」の問いに対し、満足が82.2%、おおむね満足が14.6%という結果になりました。



有効回答数：748

アンケートよりコメント抜粋

「今回参加して、印象に残ったことや参考になったことがあればご記入ください」という欄へのコメントを一部抜粋してご紹介します。

- 細かい分野に分かれて資格があって興味深かった。自分で調べると途中であきてらめてしまう気がしたので、こういう機会があってよかった。(参加プログラム：はたらくを調べよう)
- プログラムとして参加できると、怖気づく自分への後押しになるから助かった。多様な職種から自分に合う仕事を見つけたのですが・・・。(参加プログラム：はたらくを調べよう)
- 週休二日制の種類が二つあることに驚きました。働くことについて知らないことがたくさんあるので、ちゃんと調べようと思いました。(参加プログラム：はたらくを知ろう)
- 卓球でいろんなサーブが打てました。楽しかった。(参加プログラム：卓球)
- 協力することは大切だと感じた。(参加プログラム：クッキング)
- すごく楽しかったです。自分を色々と表現できて良かったです。また機会があったらやりたいです。(参加プログラム：インクアート)
- 自分の状況を鑑みるきっかけになった。(参加プログラム：CBT認知行動療法)
- 未体験すぎて戸惑いましたが何か形になって良かったです。自宅でも色々やってみたいと思います。(参加プログラム：Canva入門講座)
- 自分が好きなことに対してなぜ好きなのか、どこが好きなのかを考えるのが大切だということが分かった。(参加プログラム：文章作成講座)
- 文章を作るのが苦手でも不安でしたが、5W1Hを参考にしたら、スラスラ文章が書けるようになったので驚きました。(参加プログラム：文章作成講座)



ユースサポート・ユースワークふじさわ

2024年3月 プログラム予定表

	月	火	水	木	金	土
						1 2
10:30~11:20					つくってみよう/アママテラビー	
11:30~14:20						
15:30~16:20						
10:30~11:20	4	5	6	7	8	9
11:20	ゲーム/読解	「はたらく」を知ろう 面接の基本	「はたらく」をやってみよう 面接の基本	スポーツ/卓球(多目的室)	スポーツ/卓球(多目的室)	
13:30~14:20	SSY	誰かにお願いをする	Canva入門講座①	「はたらく」の入り門編	「はたらく」の入り門編	
15:30~16:20	つくってみよう/ピズ	スポーツ/バドミントン	Canva入門講座②	14:00~15:30	14:00~15:00	
10:30~11:20	11	12	13	14	15	16
11:20	「はたらく」をやってみよう 面接ロールプレイ	「はたらく」をやってみよう レジリアクセサリ	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	
13:30~14:20	トークンゲーム	文章作成講座	Canva入門講座②	14:00~15:30	14:00~15:30	
15:30~16:20		13:00~14:30 インターネットとの付き合い方講座	Canva入門講座②	14:00~15:30	14:00~15:30	
10:30~11:20	18	19	20	21	22	23
11:20	「はたらく」をやってみよう 履歴書の基本と志望	祝日 春分の日	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	
13:30~14:20	認知行動療法①		「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	
15:30~16:20	考えと気分と行動のつながり		「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	
10:30~11:20	25	26	27	28	29	30
11:20	スポーツ/卓球(多目的室)	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	
13:30~14:20	認知行動療法②	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	
15:30~16:20	考え方の癖やパターン	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	「はたらく」を知ろう	

印は、開始/終了時間にご注意ください

ユースサポート・ユースワークふじさわ プログラム内容



- 事前に担当相談員と参加目的などを話し合ってください。申し込みは、相談内、受付またはお電話で承っています。
- 参加後に、個別相談の中で相談員と一緒に振り返りを行います。
- 各プログラムの詳しい内容は「個別チラシ」でご確認ください。気になるプログラムがあったら、担当相談員までお気軽にお声をおかけください。

タイトル	内容の紹介
コミュニケーションタイム	利用者と担当員とコミュニケーションをとることができるプログラムです。お題に沿ってみんなで話したり、お仕事で役立つコミュニケーションを練習したり(SST)などを行っています。コミュニケーションの苦手な方や人とかわる機会をほしい方など、ぜひいらしてください。インターネットとの付き合い方講座もあります。
ゲーム・スポーツ	卓球やバドミントン、散歩、ダンス、フリスビーなどの運動を行って心地よく身体を動かしたり、ジェンガやカードゲーム(トランプ編)、参加者同士で交流を楽しみながらゲームを行ったりするプログラムです。
つくってみようプログラム	ペーパークラフト、コラージュ、モールドアート、スタンプアート、レジシ、ヒンメリ、動物の観察など、ひとりでも始めるのはちょっと大変なもの、みんなとやれば大丈夫。文章作成講座や、季節のお花を飾らせていく園芸、みんなでクッキング、などのプログラムもあります。道具は準備するので気軽に参加してください。
「はたらく」を知ろう	「はたらく」に関わる基本的なことを学ぶプログラムです。働くときに知っておきたい法律や制度、様々な働き方について、お給料の仕組み、お仕事の探し方から仕事開始までの全体像などを、皆さんが知りたいことを一緒に学びます。
「はたらく」を考えよう	自分に合った仕事を見つけるためには、まず「自分」を知ることがスタートです。自分は「どんな人?」「大事にしたいことは?」「どんな仕事が出来そう?」など、ワークをしながら考えるプログラムです。
「はたらく」を調べよう	世の中はたくさんのお仕事があります。業界や職種、仕事に役立つ資格を一緒に調べましょう。求人探し方や求人サイトの使い方、求人票の見方、ハローワークの使い方などもお伝えします。
「はたらく」をやってみよう	履歴書を書く、応募電話をかける、面接を受ける、ビジネスマナー、パソコン基礎講座など実際にやってみるプログラムです。出来ることからひとつづつ一緒に練習しましょう。ハローワーク見学も予定しています。
ボランティアプログラム	地域清掃、海岸清掃、環境フェス、アトリエフェスタ参加、その他いろいろなボランティア活動と一緒に参加するプログラムです。ボランティア先はユースサポート・ユースワークふじさわから徒歩圏内の場所もあれば公共交通機関で移動する場所もあります。
保護者セミナー/交流会	お子さんへの対応や理解に悩んでいる保護者の方向けに、セミナーや交流会を開催します。セミナーでは、保護者の方が悩みやすいテーマを選び、子供へのかわり方や支援の活用方法などについてお伝えします。交流会では、同じような悩みを持つ保護者の方同士で意見交換ができる場を提供します。

家族支援 ～セミナーと交流会～

2023年度は家族向けセミナーに82人、家族向け施設説明会に7人、家族交流会に9人、合わせて延べ98人の参加がありました。

内容	講師	参加数
ひきこもる若者との向き合い方 ～今、家族に出来ること～	よこはま若者サポートステーション 施設長 池田彩子	22人
「多様な選択を学ぶ」 ～子どもが安定して働いていくために～	よこはま若者サポートステーション 施設長 池田彩子	27人
選択肢を広げ、お子さまに合った働き方をみつけるために ～精神障害者保健福祉手帳と障害者雇用について～	認定NPO法人ユースポート横濱 理事長 熊部良子	33人
家族向け施設説明会		7人
家族交流会（2回）		9人
合計		98人

支援の成果



正規雇用：4件

非正規雇用：12件

そのほか：14件

2023年度の進路決定は、正規雇用4件、非正規雇用12件、就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所利用開始6件、医療機関利用開始4件、ハローワークなど就労支援機関利用開始3件、高等学校への入学1件の計30件となっています。

しかし、これだけが支援の成果ではありません。若者たちは自分を知り、社会を理解し、様々な体験を通じて変化・成長していきます。ユースサポート・ユースワークを利用する前と比べて、「早く起きられるようになった」「人と話すのが楽しいと思えるようになった」「意外ともものづくりが得意だとわかった」「できるかもしれない、やってみてもいいと思える職種が増えた」など、多様な変化や成長が見られます。これらはほんの一例で、それぞれの若者によってさまざまな変化があります。小さな変化も自立への大きな一歩、支援の成果だと捉えています。

若者インタビュー

2024年4月24日実施



Aさん 20代女性

Aさんは短大を中退した後、アルバイトをしていましたが、激務でメンタルの調子を崩し退職しました。その後はひきこもりがちで、働くことを考えていましたが、どう進めていいかわからない状況でした。2023年6月、ユースサポート・ユースワークふじさわの利用を始め、個別相談を受けながら様々なプログラムに参加しました。就労体験を経て、現在は生花店でアルバイトをしています。

利用のきっかけは「ひきこもり」で検索

—最初に、ユースサポート・ユースワークふじさわを利用しようと思ったきっかけを教えてください。

Aさん「バイト辞めて、ひきこもりがちになっていて、将来のこととか不安でメンタル的にも沈んでいたときに、ネットで『神奈川・ひきこもり・相談』とか自分で検索して見つけた、神奈川ひきこもり相談みたいなのところ（注：かながわ子ども・若者総合相談センター）にLINEで相談しました。そこでここを紹介してもらって来てみたっていう感じです。」

—そうすると、ご自身が「ひきこもり」だという自覚があったのですか？

Aさん「はい、まあ学校も行っていないし、仕事もしていないし、ひきこもりかなって、なんとなく思っていましたね。」

—どれくらいの期間があったのですか？

Aさん「バイト辞めてからここに来るまではそんな経ってないですが、まあ半年ぐらいですかね。ですけど、そのバイトする前も、ひきこもった時期は1年くらいあったので。なのでまた私ひきこもっちゃった、っていう不安もありましたね。」

家では一人でごろごると考える日々が続いていた

—その頃はどんなお気持ちだったのですか。

Aさん「家にいて、ずっとこう悶々としてて、ぐるぐる考えちゃってました。メンタル的にも沈んでいっちゃうし、外にも出ないからあんまり元気にもならないっていう感じでした。バイトしたいと思っていただけ、まずは働けるっていうモチベーションに持っていけないといけなかなとは思っていましたね。バイト云々より気持ちがまだできてないあっている感じでした。」

—通院はされていましたか？

Aさん「はい。通院もしていました。前のカラオケでのバイトを辞めた後もまだメンタル的にやられちゃってて。お母さんにちょっと病院に行ってみたらと言われて行きました。眠れないとか、訳も分からず泣いているとか、そういう感じでした。」

—前のアルバイトが大変だったのですか。

Aさん「人手不足が大きかったですね。めちゃめちゃ忙しかったです。私もあそこで働いて一年も経ってないのに、任されるのがほぼほぼ店長の次ぐらいになっちゃったので。みんなからも相談されるし、でも店長も店長で忙しすぎて相談しづらいみたいなのが結構きつかったですね。」

—過酷な職場だったんですね。

Aさん「そうですね。今思えば、ちょっと愚痴にはなっちゃうんですけど、店長がやりくりがあまりうまくない人だったのかなって。結局、その店長より上の方がいらっちゃって、お店がよくなったと後から聞きました。大変な時期に働いていたのかなと思います。」



行くまではおっくうだけれど プログラムや就労体験に参加して良かった

—ユースサポート・ユースワークふじさわに初めて来たときはどんな気持ちでしたか？

Aさん「その時はもう、藁にもすがるといふか。あんまり相談できる人もいなかったの。とりあえずなんか聞いてもらいたいと思っていました。実際話してみて、ちょっとスッキリした感じはありましたね。」

—ユースサポート・ユースワークふじさわを利用して良かったと思うことはどんなことですか。

Aさん「いっぱいあるんですけど、やっぱり一人で悩んでいると、自分で外出する機会作ったりとか、難しくなってきたり。そうするとやっぱり物理的な話でいうと、例えば太陽の光浴びないとやっぱりメンタル的にもやっぱり影響は多分あると思うし、あと体も動かさないからそういう部分も良くないだろうっていうのが改善されました。」

—いろいろなプログラムに参加されていましたよね。

Aさん「そうですね。バドミントンだったり、料理だったり、散歩行ったり。スクラッチアートとか羊毛フェルトとか。羊毛フェルトはあの後、自分で材料を買って家でシマエナガとか作りました。アロマテラピーも楽しかったですね。ひきこもっていたので、外に出て体を動かせるっていうだけでもすごく良かったと思いますね。」

あとは一番よかったのは、リサイクルショップで就労体験をさせてもらったことです。いきなりまたバイトに行っただけで、また辛かったらどうしようみたいな不安があったので、そういう就労体験という形でできたのが良かったかなと思いますね。」



—就労体験はどのくらいの期間、参加されましたか？

Aさん「一か月くらいだと思います。」

—就労体験をして、どんなところが良かったですか。

Aさん「急かされる職場ではなかったので、なんか安心できました。前の仕事だといろいろと追われてる感じがあったので。追われて機械的に接客する職場ではなくて、普通に丁寧に余裕を持ってという職場であれば出来るんだなって、ちょっと自信みたいなのはありました。接客自体は嫌いじゃなかったの、それこそカラオケのバイトも楽しい時は楽しかったの、辛くなって辞めちゃったっていうのが嫌だったんです。接客の仕事自体は好きなんだという再確認も出来ました。」

—ユースサポート・ユースワークふじさわでいろいろな活動に参加していて、辛いとかなんかしんどいとか思ったことはありますか。

Aさん「行くまでは辛いことは多いんですけど、まあそれは仕事とかでもそうなんです。ちょっとおっくうみたいな。でも行ってしまえばなんとかなるし、その日なんかしたっていう感覚にもなるから、夜に気持ちが落ち込むことも少なくなるし。細かい達成感みたいなものが積み重なって、それで少しずつ気持ちが安定していったのかなと思います。」

相談しながら「なにかを作る仕事」がいいなと決めました

—就労体験の後、アルバイト応募によって、すっといけたのですか？

Aさん「はい、そこはもうあまり間が空かないようにしようっていうのは最初から思っていました。そこでまた迷っていやいけないと思っていました。」

—次のアルバイトはどんな職種選ぼうかなとか、どこを応募しようかなとか悩みましたか？

相談できる人がいるっていうのは大きい

Aさん「悩んだんですけど、ここで、GATBテスト（注：一般職業適性検査）や興味のテスト（注：VRT職業レディネス・テスト）を受けて、担当相談員さんと相談しながら、なにか作ったりする仕事がいいかなっていうのを思いました。それで、お花屋さんはブーケとか作ったりするので、お花屋さんしようと思いました。」

—お花に関してなにか今までご経験があるのですか？

Aさん「いや、習ってたとか全然ないですね。母は植物を育てていますけれど、私はしないです。今までも別にお花を買うのが好きとかでもなかったですね。好きになったのは働き始めてからですね。」

すごい緊張のアルバイト面接

—いままでのアルバイトや就労体験で接客の経験はあるけれど、作る仕事は初挑戦だったんですね。面接は緊張されましたか。

Aさん「緊張はすごかったです。緊張して、感触としたら落ちたなと思ったんですよ。面接がサクッと終わっちゃって。あんまり聞かれなかったんですよ。だからなんか落とされちゃったかなと思ったら、あとから電話かかってきて、受かっていました。」

—面接で聞かれると嫌だという質問はありましたか？

Aさん「今のアルバイトの前に受けたところで、メンタル的な病気がちで休んでいた時期がある、と言った時に、前にそれで辞めてしまった人がいたからメンタル的な病気がちょっと困る的なニュアンスのことを言われてしまって。でもメンタルの病気が誰でもなってしまう時にはなってしまうことなのに、それが理由で落とされるの嫌だあって。面接から帰ってからも、もやもやしていました。結局そこは落とされましたけど。」

—今のアルバイト先ではそのようなことは聞かれなかったのですか。

Aさん「ブランクがあるなと思うのですが、気にしないでくださったのか、今までの経験だけを聞かれました。お花に関しての経験はないけど、接客の経験があるというのが良かったみたいです。」

お祝いのブーケを作るのが目標

—お花屋さんのアルバイトを始めてみてどうですか？

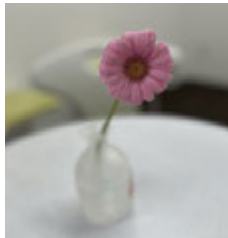
Aさん「最初の1週間ぐらいはもうガチガチに緊張したんですけど、2か月経って慣れてきました。花屋さんって明るいで、まだ仕事を始めて日が経っていないからかもしれないですけど、いまだに出勤する度に「わー、綺麗」って思いますね。いい香りもするし。」

—実際に作る作業はありますか？

Aさん「あります。あ、でもオーダーのブーケはまだ作ってなくて、店頭で置いてあるブーケとかを作ったりしてますね。最初、先輩に花に関する自然の摂理とかから教えてもらいながら作って、これでいいのかなっていうのはすごく思いますけど、でもちゃんとそれが売れたりすると嬉しいですね。」

—先輩たちは優しいですか。

Aさん「優しいですね。むしろなんかすごくすぐたいぐらい褒めてくれます。一ヶ月でこんなできるなんて、本当すごいなみたいないっぱい言ってくれます。私は知らなかったのですが、卒業、入学シーズンで、発表会なども多いかなり忙しい時期に入ったのでそれで鍛えられたのかなと思います。」



—今後について、目指していることはありますか。

Aさん「例えば準社員とか正社員の人は何級という社内の技術のランクみたいなものがある。ちょっとアルバイト先の面接でも話したばかりなのですが、とりあえず入社一年目に最初の1級を取りたいなと思っています。具体的に言うと、接客の技術だったり、梱包だったり、水揚げだの仕方だったり、基本的なことをできるようにしたいな。あと、3,000円、4,000円ぐらいのブーケは作れるようになりたいです。それと、兄弟のお祝い事があるので、それに合わせてブーケを作れたらいいなっていうのも目標です。間に合うか分かんないですけど、出来たらいいな。」

—お仕事も順調で、コースサポート・コースワークふじさわは卒業されるということですが、振り返ってどのような感想がありますか？

Aさん「いっぱいあるんですけど。まずは、相談できる人がいるっていうのは大きいと思うし。ここに来るってことは多少なりメンタル的に良くない人もいると思うので、そういう人が外出の機会を作れるっていうのもすごく良いと思うし。あと料理だったり、まあスポーツでもそうですけど、自分一人ですることじゃないこともできるのもすごくいいなと思いますね。」

—担当相談員との相談についてはどうでしょう？

Aさん「相談するとやっぱり自分の状況も多少客観的に見れるし。自分がどうしたいっていうのが聞かれて初めてわかることっていうのもありますし。あとは単純に人と関わるといっては・・・うーん、なんと言ったらいいのか、言葉が難しいですが・・・居心地がいいというか。家だと一人の時間が長かったので、人と話せるっていういいなと思います。」

これからコースサポート・コースワークふじさわを利用する人へ

—最後の質問です。ここをまだ知らない人やここを利用しようかなと迷っている人に伝えたいことがもしあれば教えてください。



Aさん「どんな方がここに来てるのか、私もそこまで詳しくは知らんですけど、この存在を知って、来て損はないなと思いますね。ちゃんと考えて聞いてくださるし。自分で自分の悩みをなんとなく客観的に見れるようにもなるし。その方が前向きなことだと思うので。迷ってるなら一回来てみて、みたい。あとは就労体験とかできるのも大きいメリットだと思います。」

—ありがとうございました。

担当相談員からのコメント

ご利用開始当初は、表情も硬く、自信のなさや焦りの気持ちが入り交じっているようでした。相談内で話される内容も、自分自身のことより他の人はどうしているのかという話が多かったように思います。そのため、まずは施設に慣れ、安心して自分の話をする場にしていただくため気軽に楽しめるプログラムへの参加からスタートしました。また、学生時代や以前のアルバイトの中で感じたことや行動の傾向などを少しずつ振り返り、整理し、職業興味検査などの結果とすり合わせながら就労目標を定めていきました。定期的な相談やプログラム参加を重ねる中で次第にご自身の想いや考えなど内面的な話もされるようになり、就労体験では、「漠然とした不安があったが、今回行動したことで働こうという気持ちになった。出来ないと思っていたが大丈夫だった。」と働く自信を取り戻されました。安心安全な場所での人との関りは、Aさんにとって、自分を受け入れ、他者との関係を見直し、これからの自分を考える機会になったのではないかと思います。

プログラム担当者からのコメント

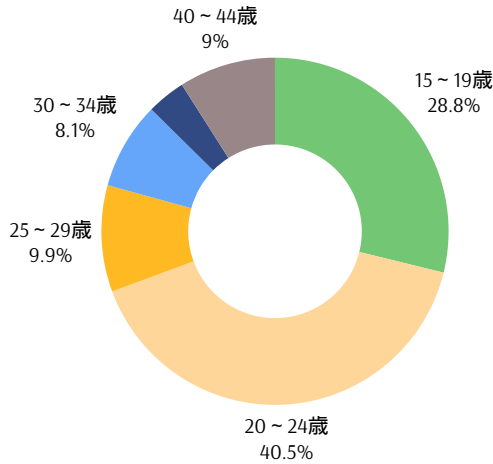
創作・スポーツ・知識習得など50回近くプログラムに参加されていました。創作の時は「こういうものを作りたい」というイメージを持って長時間集中して取り組み、完成度が高い作品を作られていました。お花屋さんという希望を伺った時はびっくりだと思いました。利用開始当初は創作にだけ集中していて、他の利用者さんから話しかけられて戸惑う様子も見受けられましたが、だんだんと馴染んで楽しく雑談をしながら作業をされていました。また、ほかの利用者さんに「初めてなのにそんなにできるのすごいよ」などとAさんの方から声をかけることも増えました。特に料理は手慣れていて、賢い買い物方法や洗い物を減らす工夫を教えてくれたり、作業が遅れがちな人をさりげなく手伝ってくれたりしていました。これからのお仕事でAさんの魅力を発揮していただることを願っています。

若者たちについて

2023年度の新規登録者数は131人でした。ユースサポート・ユースワークふじさわを利用する若者たちはどんな若者たちなのかイメージしていただくために、年齢層や来談経緯などインタビュー（初回相談）で得た情報をお伝えします。

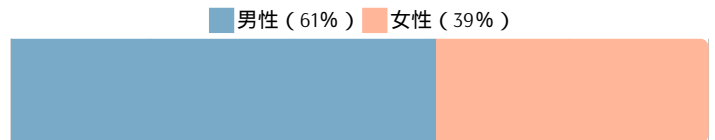
新規登録者の年齢層

利用者の約70%が10代から20代前半と、特に若年齢の利用が多い傾向にありました。

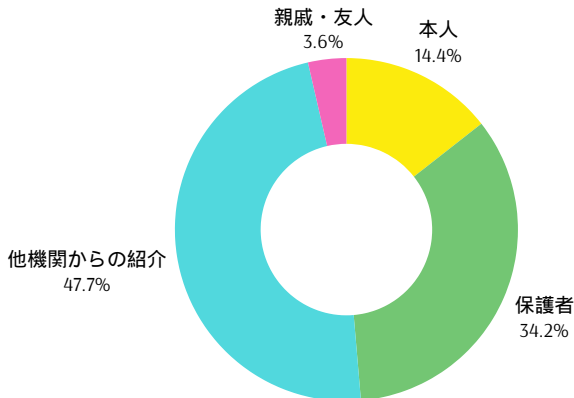


新規登録者の男女比

男女比は男性がやや多く、約6対4の割合でした。



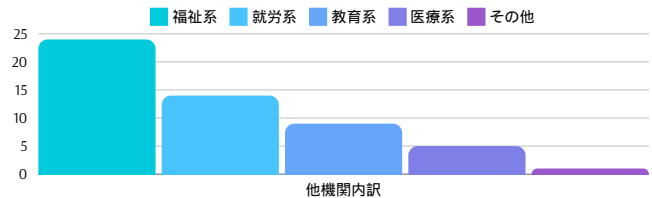
新規登録者の来談経緯



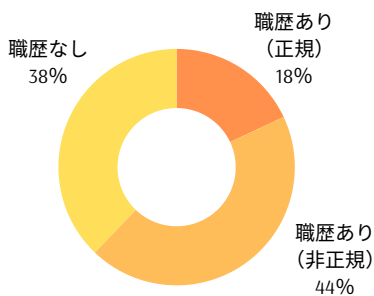
ユースサポート・ユースワークを利用するきっかけとして最も多かったのは、他機関からの紹介であり、全体の47.7%を占めました。その内訳を見ると、福祉系の機関からの紹介が最も多く、次いで就労系、教育系、医療系の順となっています。

- 福祉系機関：藤沢市生活援護課、保健所、社会福祉協議会、障がい者地域相談支援センター、地域就労援助センターなど
- 就労系機関：ハローワーク藤沢、よこはま若者サポートステーション、雇用労働相談室など
- 教育系機関：藤沢市内の高等学校、大学など
- 医療機関：精神科・心療内科など

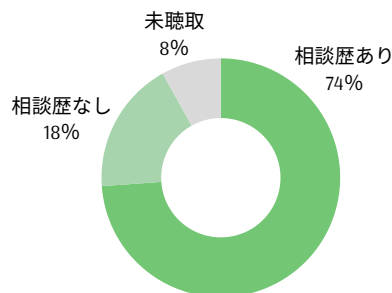
他機関からの紹介内訳



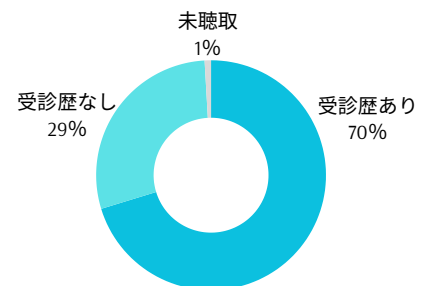
新規登録者の職歴



新規登録者の相談歴



新規登録者の精神科・心療内科の受診歴



初回相談時の聞き取り情報によると、新規登録者の62%は正規・非正規を合わせて何らかの仕事をした経験があり、38%は全く働いたことがありませんでした。ユースサポート・ユースワークふじさわを訪れる前に他の支援機関で相談をしたことがある若者は74%、相談したことがない若者は18%でした。また、70%の若者が精神科・心療内科の受診歴がありました。これは過去に一度だけ受診したという人も現在通院中の人も含んでいます。

ユースサポート・ユースワークふじさわは認定NPO法人ユースポート横濱が藤沢市より委託され、運営しています。

認定NPO法人ユースポート横濱とは

法人概要

- ・ 設立：2006年9月
- ・ 事務局所在地：横浜市西区北幸1-11-15横浜STビル3階
- ・ 連絡先：TEL 045-641-2751 FAX 045-290-7235
- ・ ホームページ：https://www.youthport.jp/

運営している事業

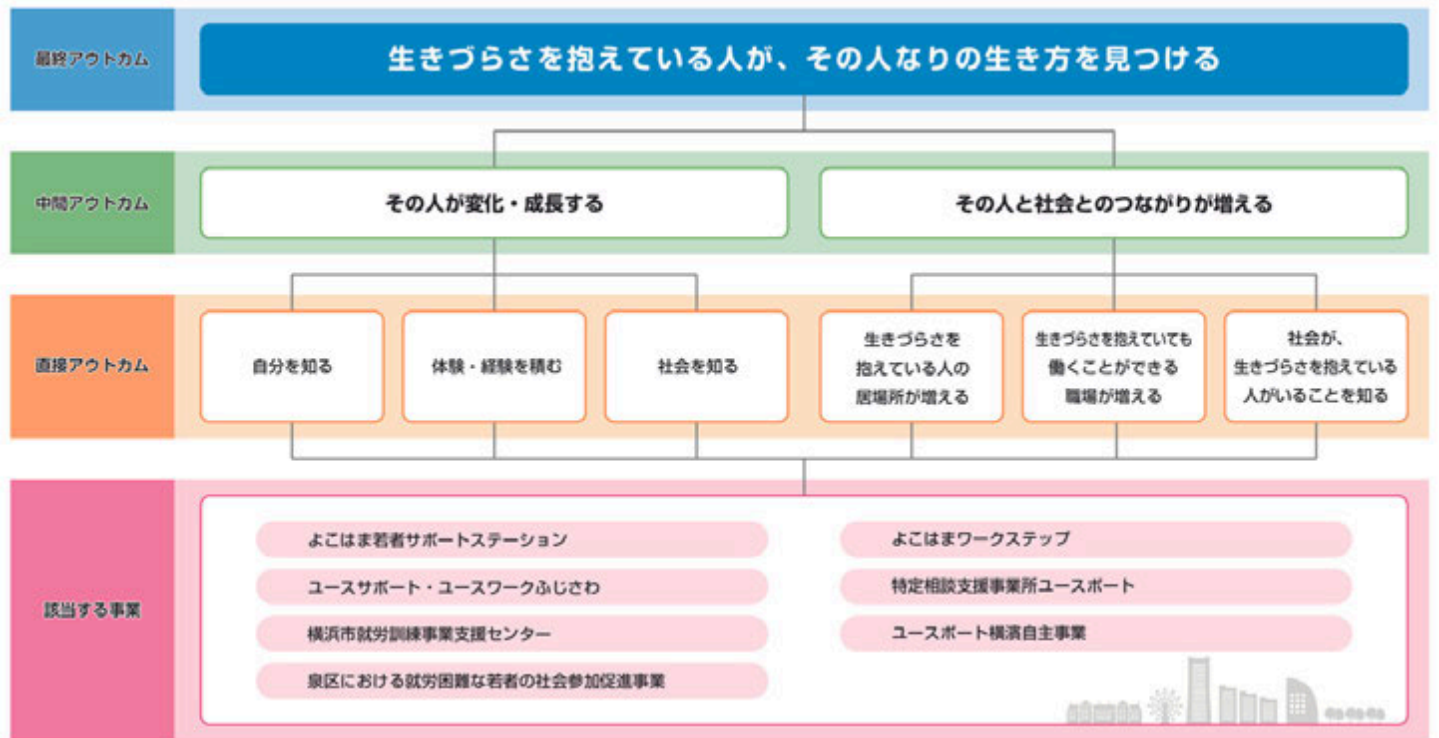
- ・ よこはま若者サポートステーション
- ・ 横浜市就労訓練事業支援センター
- ・ 特定相談支援事業所ユースポート
- ・ ユースサポート・ユースワークふじさわ ほか

Mission

孤立状態にあることで困難を抱えている人に対してその人がありたい姿に近づけるよう就労や生活の支援をすること。また、支援を通じて発見した課題に取り組むことによって社会に貢献すること。

認定NPO法人ユースポート横濱 ロジックモデル

社会には、その姿が見えにくいままに生きづらい状況に置かれている人がいます。その人は、お金の困っていたり、学校や職場でつらい経験をしていたり、家庭が安心できる場ではなかったり、一人きりで孤独を感じていたり、病気や障害を抱えていたりします。また、人や社会に対する信頼を失ったり、自己責任だと自分を追い詰めたりすることで、安心して過ごせる場所を見つけられない、将来に対する希望を持たない状況にもつながっています。さらに、社会的に孤立すると、多くの人が当たり前に行っている経験をする機会を逃し、必要な情報、選択肢にアクセスすることも難しくなります。一つの“正しい”生き方が存在するわけではなく、特定の生き方を社会が課すものでもありません。ユースポート横濱は、このロジックモデルに基づき、生きづらさを抱えている人がその人なりの生き方を見つけ、実現するためのサポートをしていきます。



*本モデルは、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 源由理子教授のファシリテートのもと、法人職員を対象としたワークショップにて作成。

ユースサポート・ユースワークふじさわ

対象

藤沢市在住・在勤・在学の
15歳～44歳の方とご家族

開所時間

火曜日～土曜日 10:00～18:00
(休館日: 日・月・祝日・年末年始)

利用料

無料

利用方法

予約制。電話またはWEBフォームで
ご予約の上、相談にお越しください。

住所

藤沢市本町1-12-17 Fプレイス5階
藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設

申込・問合せ

電話: 0466-86-5481
<https://www.youthport.jp/fujisawa/>

運営法人

認定NPO法人ユースポート横濱

委託元

藤沢市産業労働課・青少年課

A Place for Youth vol.01

ユースサポート・ユースワークふじさわ活動報告2023

発行日: 2024年6月

発行元: ユースサポート・ユースワークふじさわ
(認定NPO法人ユースポート横濱)

Copyright © YouthPort Yokohama, All Rights Reserved.

